

太平物産株式会社が生産し、全国農業協同組合連合会が供給した有機肥料の成分等が偽装されていた問題に関する JGAP 上の注意点について

JGAP 認証農場各位

平成 27 年 11 月 5 日付で全国農業協同組合連合会（以下「全農」という。）が公表した内容によると、全農が太平物産株式会社（秋田県秋田市、以下「太平物産」という。）から購入し、「JA マーク」、「全農マーク」を付して JA を通して供給した肥料に、太平物産がチラシや肥料袋に明示している原料や配合割合と異なる内容の肥料が多数存在することが明らかになりました。同社の肥料は 7 割が有機入り複合肥料とのことです。

本件は有機農業や環境保全型農業に取り組む農業者の方々には、エコファーマーネットワーク等から既に連絡が来ているものと思われませんが、JGAP との関連でもいくつか注意点があるため、お知らせいたします。

●青果 5.1.4、穀物 9.3.1.3、茶 5.1.4 肥料成分の把握

→ 太平物産の肥料を使用していた場合には、これまで把握されていた成分値ではない可能性があります。

●青果 5.1.2、穀物 9.3.1.2、茶 5.1.2 適切な施肥設計

→ 太平物産の肥料を使用していた場合には、これまでの施肥設計が適切でない可能性があります。

ただし、現時点では正しい成分は把握されていないため修正は困難です。また、仮に表示に記載されていない原料の安全性に問題があった場合には、土壌の安全性や商品自体の安全性の管理点へも波及する可能性があります。

本件の詳細については、全農や太平物産の肥料を購入した販売店に確認いただくのがよいと思います。また、太平物産、全農、農林水産省において本件に関する情報提供が行われております。全農においては肥料の回収を行っているとのことです。

<http://www.zennoh.or.jp/press/release/2015/212197.html>（全農からの発表）

http://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/hozen_type/taihei.html（農水省からの発表）

現時点ではこの肥料を使用していたことが JGAP 認証にただちに影響を与えることはありませんが、当該肥料の正確な成分及び安全性が判明していないため、今後は使用しないのが適切と考えます。取り急ぎの一報とさせていただきますが、新たな情報が明らかになり、対応が必要となる場合には再度ご連絡いたします。

担当：日本 GAP 協会 荻野（おぎの）

FAX：03-5215-1113、メール：info@jgap.jp、電話：03-5215-1112

（この FAX は 2015 年 10 月 1 日以降が認証期限の、認証農場(個別認証)及び団体事務局にお送りしています。太平物産の当該肥料は東日本に出回っているとの事ですが、念のため全認証農場にお送りしています。）